

津波・高潮ステーションとは

「津波・高潮ステーション」は、大阪府西大阪治水事務所が所管する防潮堤や水門の津波・高潮防ぎよ施設の一元管理を行う「防災棟」と、府民の防災意識の向上を目的とした「展示棟」を併せ持つ施設です。

「展示棟」は、かつて大阪を襲った高潮や、近い将来必ず大阪を襲うと言われている南海トラフ巨大地震と津波についての正しい知識を習得していただくとともに、地震、津波発生時の対応などを学べる、広く開かれた施設です。

“見て、聞いて、触って”学び、災害への備えの大切さを心に刻んでください。

—コーナー展開—

起 海より低いまち大阪

- わたしたちの住むまちは海面より下にある
- 大阪府域の特徴



承 災害をのりこえ着実な高潮対策

- 忘れないで高潮災害の脅威
- 高潮防災施設のはたらき
- わたしたちのまちの水防団



転 高潮とは異なる津波の脅威

- 歴史の教訓を未来に活かす
- ダイナキューブ「津波災害体験シアター」
- せまりくる津波とその対策



結 津波災害から生命を守る知恵

- 学びのサロン
- 東日本大震災に関する展示

●交通のごあんない

—電車—

Osaka Metro 阿波座駅(中央線・千日前線)

8・10番出口より徒歩約2分

※公共交通機関をご利用下さい。

※館内は飲食禁止・敷地内は禁煙です。



入館料 ●無料

開館時間 ●10時から16時まで

休館日 ●毎週火曜日、土曜日

●年末年始

住所 ●〒550-0006 大阪市西区江之島2-1-64

TEL ●06-6541-7799

FAX ●06-6541-7760

HP ●<https://www.pref.osaka.lg.jp/o130350/nishiosaka/tsunami/index.html>

小中学生の防災教育や社会見学に最適!

事前予約は不要です。

ただし団体の場合は、予約が必要です。

 大阪府西大阪治水事務所



津波・高潮 ステーション

TSUNAMI

Storm Surge Disaster Prevention Station





高潮防災施設のはたらき

Functions of Tidal Surge Protection Facilities

高潮災害から府民を守るシンボルとして鉄扉(実物)がそびえ立ち、さまざまな防災施設の役割やしくみの解説を通して着実に進められてきた高潮対策への理解を深めることができます。



わたしたちのまちの水防団

Flood Prevention Teams in Our Community

台風などで浸水が心配されるときに防潮扉を閉めているのはだれ?地域の皆さん的生命とくらしを守る水防団について紹介しています。

海より低いまち大阪 起

Osaka below Sea Level

床面を海面に見立てた展示で、大阪のまちが海面より低いこと、潜在的な危険があることをリアルに実感できます。

災害をのりこえ着実な高潮対策 承

Overcoming Disasters, Reliable Countermeasures against Tidal Surges

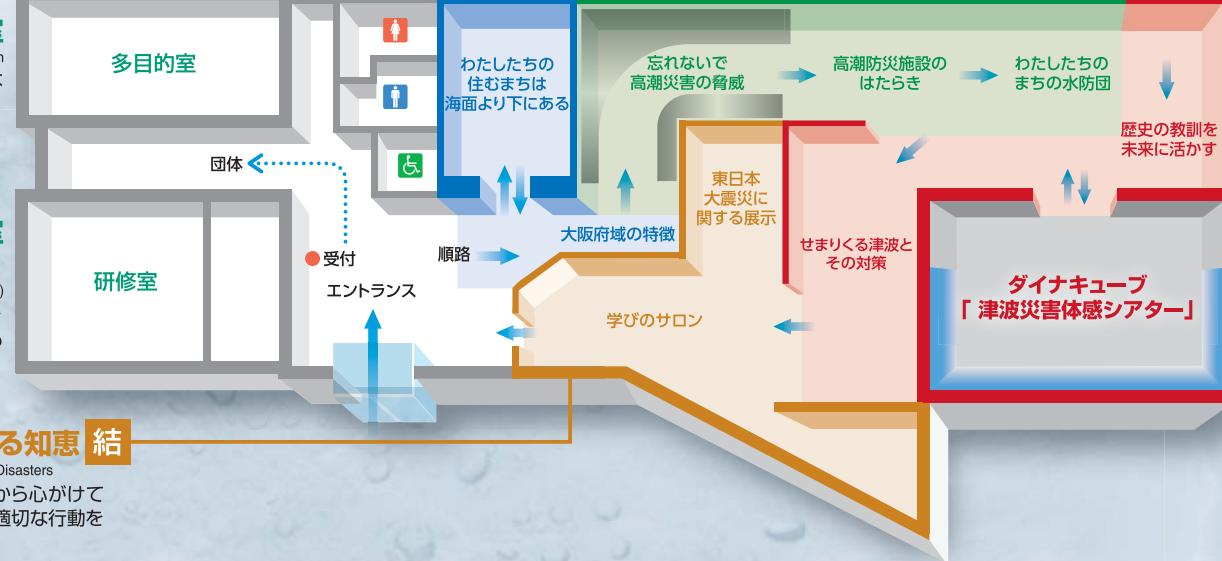
繰り返し大きな高潮被害にあった歴史、高潮防災の着実な歩み、高潮防災施設のはたらきを知ることができます。

転 高潮とは異なる津波の脅威

Tsunami Dangers Different from Tidal Surge Dangers

津波の恐ろしさやメカニズム、近い将来かならず起こる南海トラフ巨大地震による津波への対策を学ぶことができます。

館内案内図



津波災害から生命を守る知恵 結

Knowledge to Protect Your Life from Tsunami Disasters

津波災害から命を守るために、日頃から心がけておきたいこと、災害にあったときの適切な行動を確認できます。



せまりくる津波とその対策

Imminent Tsunamis and their Countermeasures

地震や津波が発生するメカニズム、想定される被害規模や被災地域など、さまざまな研究によりわかっていることを、多様な展示で紹介しています。



東日本大震災に関する展示

Exhibition On The Great East Japan Earthquake

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による津波災害の恐ろしい実態を見ることができます。



ダイナキューブ 「津波災害体感シアター」

DYNACUBE—Tsunami Disaster Experience Theater—

前面・左右側面・床面の4面に、ひとつながらの映像が映し出されるダイナミックな映像シアターです。

包み込まれるような迫力の中で津波の恐ろしさを体感できます。

歴史の教訓を未来に活かす

Using the Lessons of History into the Future

大きな津波はその恐ろしさを人々が忘れた頃に突然襲ってきます。津波災害を経験した先人が私たちに残してくれた教訓を学びます。

南海地帯

1605年2月3日
102年
M7.9 廉長地震

1707年10月28日
147年
M8.4 宝永地震
32時間後

1854年12月23日
1854年12月24日
90年
M8.4 安政南海地震
2年後

1944年12月7日
1946年12月21日
150年以上
M8.0 昭和東南海地震
昭和東南海地震
?年

2XXXX年XX月XX日 南海トラフ巨大地震発生のおそれ

地震による津波はくり返し起きています。
次は明日かもしれません。